

## 山北地区まちづくり協議会 コミュニティの支援と連携の推進 集落の元気づくりについて紹介します

集落の活性化を目的とした事業や課題の解決などを行う集落等に対して支援を行っています。  
今回は、秋に行われるイベントをご紹介します。

### 【大毎集落】 大毎大収穫祭

大毎集落からウォーキング（約3キロ）した後、稲刈り体験や地元料理などを楽しめます。

とき 10月8日(日)

【受付】午前9時30分～午前10時

集合場所 満願寺(大毎) 定員 50人(先着順)

参加費 2,000円(昼食代込み)

その他 天候により内容を変更する場合があります。

申込み 事前に大毎農家組合長 加藤(Tel.0254-75-2034)



▲ 稲刈り体験の様子

### 【中継集落】 中継もみじマラソン大会

「スポーツの秋」一緒に汗を流しませんか。

とき 10月29日(日) 午前9時～

内容 2キロの部、5キロの部

(両部門ともマラソン・ウォーキング)

集合場所 中継集落公民館前

参加費 500円(記念品、芋煮代、保険料)

申込み 中継マラソンクラブ

事務局 板垣 真(Tel.090-2175-5868)



▲ 中継もみじマラソン大会の様子

## お知らせ

## まちづくり協議会ではイベント用品を貸し出しています



綿あめ機、ポップコーン機、かき氷機、たこやき機、発電機、のぼり旗



テーブル、テント、ハンズフリー拡声器

集落や地域を対象に実施する事業への貸し出しは無料です。

借用を希望する場合は、まちづくり協議会事務局までご連絡ください。  
Tel.0254-77-3111(村上市山北支所内)

## 編集後記

第2次まちづくり計画のサブテーマは「住民一人ひとりが主人公のまちづくり」です。少々難しいテーマのように感じるかもしれませんが、みなさんがまちづくりに参加できる要素は意外と身近なところにあるのかもしれません。表紙で特集した「あいさつ運動」もそのひとつです。あいさつ運動による集落の活性化や防犯効果も立派なまちづくりです。「身近なこと」「できること」から皆さんもまちづくりにぜひ参加してみてください。

# さんぽくまちづくり通信

第19号

発行 山北地区まちづくり協議会

発行日 平成29年(2017年)9月15日

事務局 村上市 山北支所 地域振興課 自治振興室 (住所) 〒959-3993 新潟県村上市府屋232  
(TEL)0254-77-3111 (FAX)0254-77-2217 (E-mail)s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp



「あいさつ」から始めませんか  
～一人ひとりが主役となれる地域づくり～

▲ 小中学校や公共施設・集落センターや公民館・バス停にのぼり旗の設置を呼び掛けています

### さんぽくあいさつ運動展開中

先に各集落等へ配布をしました「あいさつ運動」ののぼり旗。各小中学校の生徒の皆さんで考えていただいた標語を基に当協議会でのぼり旗を作成し、配布をしたものです。

日常のコミュニケーションの始まりは「あいさつ」から。朝起きて夜寝るまでの間、様々な場面で交わす「あいさつ」は、その場を和ます力や心をほぐす力、ひきつける力があります。生徒の皆さんが考えていただいた標語にも、その力が秘められています。

今年度のあいさつ標語  
あいさつを みんなでやって 幸せに  
(さんぽく南小 本間 聖矢さん)  
あいさつで みんながえがお ニッコニコ  
(さんぽく北小 佐藤 里桜さん)  
おはようで 1日始まる Have a nice day!  
(山北中学校 佐藤 花さん)

「きっかけはあいさつから」ですが、そこからつながる言葉やふれあいの数々で、集落や地域内あるいは関係する団体、組織などでのコミュニケーションが図られていきます。

山北地区まちづくり協議会では、そのようなきっかけ作りや、皆さんがコミュニケーションを図るための取り組みや、地域を担う人材を育成するための取り組みの支援を進め「地域の皆さん一人ひとりが主役となれる地域づくり」の実現に向けた活動を進めています。次項からは活動を支援する各取り組みを紹介しますが、今後もより多くの皆さんからの参画をお願い致します。

## 山北地区まちづくり協議会 地域活性化に取り組む団体の支援と育成 地域づくり団体活動支援について紹介します

山北地区における定住の里づくりを推進するため、地域づくり団体等が地域の活性化のために行う事業に対して、山北地区まちづくり協議会は支援を行っています。今回は、地域づくり団体「ドリーム100プロジェクト」の活動についてご紹介します。

### 【ドリーム100プロジェクト】



齋藤 信秋さん

#### Q 「ドリーム100プロジェクト」とは、どんな団体ですか？

昨年度、私が部長をしていた山北商工会青年部に協力を仰ぎ、現在も青年部が中心となって活動しています。

「近い将来、山北が山北として輝くことが出来なくなるのでは？」そんな不安に駆られ、「これからの子ども達が将来帰ってくる場所を守らなければ！」という想いで、今できる事！今を支える人達の一人ひとりが自分の地域にもっと目を向け関心をもってもらいたいと考え始めた事業です。

#### Q どんな活動を行っていますか？



山北をもっと元気にするために、みんなで勉強し・つながり・話し合う機会を設けること。また、自分たちで地域を守り受け継いでいくために、将来に向けた100の提案「ドリーム100」を作ります。



▲ ドリーム100の活動の様子

#### Q 活動の進み具合について教えてください。



まず最初に「私達の今とこれからを知る」「住民の一人ひとりの問題だという事！」を知ってもらいたく人口減少・少子高齢化の進行度を実際のデータで確認しました。その上で、若者・女性等の階層別の意識調査を実施し、結果を分析しました。



次に、この地域に必要なものや要望を「子育て」「コミュニティ」「暮らし」「しごと」「イベント・観光」「施設の希望」について自由に意見を出し合い100個のドリーム(アイデア)を作成しました。それを「すぐできる事」「やらなければならない事」などに分け、具現化に向け「空き家活用」「海岸エリアのレジャー化」「交通網整備」「子どもが遊べる場所づくり」の4つのプロジェクトを決定しました。今後は、すぐ出来る事を実行したいと思います。



「まちづくり」とは、どこかの誰かがやれば良いという事ではありません。将来の子ども達の故郷を私達で守っていく事が「まちづくり」ではないのでしょうか？世代別で意見も食い違う為、意思統一は難しい課題ですが、だからこそ今を生きる我々が立ち上がるべきだと考えています。今後ともご支援、ご協力をお願いします。

## 山北地区まちづくり協議会 地域の未来を担う子ども達の育成 山北地区の地域の担い手育成について紹介します

山北地区内の小中学校が行う、地域の生業・伝統文化・伝統食を未来の担い手となる子ども達へ継承するために行う、各種体験や実習等を山北地区まちづくり協議会では支援しています。今年度実施された各学校の活動のうち、いくつかをご紹介します。

### 【山北中学校】 商人体験

3年生が修学旅行ときに、大阪府堺市の山之口商店街で山北地区の特産品を販売する体験しました。子ども達は、特産品について調べ、販売する商品を決め、仕入れ元に商品提供をお願いします。販売では、郷土の一員であるという自覚を持ち、山北の魅力を発信するとともに、山北の良さを再発見。販売することの楽しさや難しさも感じ貴重な体験となりました。



▲大阪府山之口商店街での商人体験の様子

### 【さんぽく北小学校】 焼畑体験

5年生が山北地区の伝統農法である焼畑を地域の人と一緒に体験しました。学校にほど近い畑で杉の葉に火を放つと、たちまち勢よく燃え上がり、炎の迫力や熱さにビックリ。焼畑や赤カブについて、地域の人達に教わった子ども達は、地面がまだ温かいうちに、丁寧に種を蒔きました。秋には収穫し、山北特産の赤カブ漬けにする予定です。



▲ 北小近くの畑での焼畑と種まきの様子

### 【さんぽく南小学校】 山菜採り体験

3年生が山菜採り体験に行きました。地域の人達から山菜の採り方について説明していただき、初めは「どうやって採るんですか。」なんて言っていた子ども達ですが、あっという間にたくさんのおいしい山菜を採ることができました。次にミズの皮むきを体験。初めてでしたが、上手にできました。その後、持参したおむすびに山北地区の塩を付けた「塩おむすび」と、作っていただいた「山の幸」山菜料理をおいしくいただきました。



▲ 山菜採り体験の様子